

点字で読み書き

1

広瀬浩一郎 (ひろせこういちろう)
民族文化研究部

指先で触れる文字

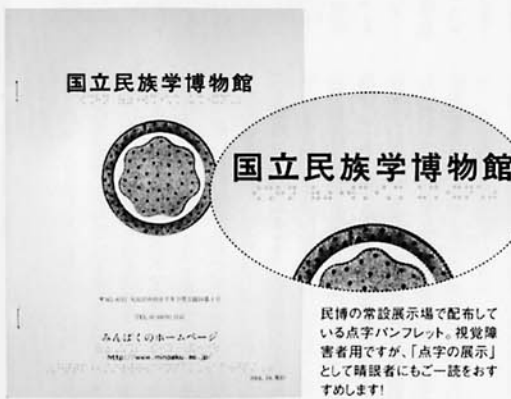
「全盲の僕が点字を使って大学受験したのは二〇年近く前のこと。そのころは、普通の参考書やテキストを点字にしてくれる点訳ボランティアのお世話になった。今でも僕は、各地のボランティアが点訳した本を研究のために利用している。普通の文字を特殊な文字に変換する作業、視覚障害者(マイノリティ)に対する情報保障の手段が点訳だといえよう。」

「ここ数年、僕が関わっている豊中市のある点字サークルでは毎年、点字によるカレンダーを作っている。全国の希望者に無料配布している。パソコン、点字プリンターを使えば点訳、複製は容易だが、あえて昔ながらの点字器、タイプライターで文字ずつ点字を打つことにこだわっている。点訳サークルが、点字「を」勉強することを主目的にしていないとすれば、点字サークルのテーマは、点字「で」勉強することかもしれない。ポツポツした点字「で」はつぼつと自分の名前を書き、はつばつと読み返す。それは視覚障害者の文化、文字に対する盲人の物々たる思いを知ることなのだ。自身も盲になったフランス人ルイ・ブライユ(Louis Braille、一八〇九〜一八五二)は、フランスの軍隊で使われていた「夜の文字」という暗号にヒントを

得て点字を考案した。当時の盲学校には教材などほとんどなく、生徒たちは自己表現、情報伝達の手段である文字をもっていなかった。六点の組み合わせによりアルファベット、数字、記号を表現する点字は、視覚障害者が簡便に読み書きできる触覚文字として圧倒的な支持を集めた。一八二五年、ブライユは点字の配列表をほぼ完成し、この表が世界各地に普及した。日本点字は一八九〇年、東京盲啞学校の石川倉次(一八五九〜一九四四)により翻案され、多少の表記法の変更を経て現在に至っている。

僕は点訳サークル、点字サークルに集う暗眼者に接しながら、視覚障害者用の特殊な文字として案出された点字の意味、そして多様な文字(生き方)の可能性について考える。点字は多数者が用いる普通の文字とは異なるため、効率的なコミュニケーションには適していない(便利さのみを追求する現代社会のある種の「いやし」として、点字を学ぶ暗眼者がはつばつ増えはしないのだ)。一方、点字はその特殊性ゆえに異文化(視覚に対する触覚、目に対する手)を意識するひとつのきっかけともなりうる(ポツポツを手打ちし、触覚すれば、脳が刺激されボケ防止になるかも)。触覚

さあ、まずはあなたも駅の券売機、街中のポスト、公共施設のエレベーターなど身近にある点字表記を「解説」してみよう！ 次回は実際に点字器に向かって、はつポツ点字を書く方法を説明したい。



点字を読んでみよう(凸面配列)

点字は横書きで、書くとき(凹面)は右から左へ、読むとき(凸面)は左から右へ。つまり「書く点字」と「読む点字」は左右対称になります(下の表記例参照)。

●マス(6つの点)

点字はマスのなかの6つの点で構成されています。それぞれの点は1の点、2の点…6の点の名称がついています。

1	4
2	5
3	6

●母音と子音の位置

母音(あいうえお)は1の点、2の点、4の点を使って表します。子音は3の点、5の点、6の点が使われます。子音と母音を組み合わせてカナが表されます(一部規則に沿わないものもあります)。6点すべてを打てば「め」の字ですが、ここから「点字は盲人の目」ともいわれます。

●濁音

濁音は2つのマスを使い、向かって左のマスの5の点で濁点を表します。(ザ・ダ・バ行も同じルール)

ガ	ギ	グ	ゲ	ゴ
●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●
●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●

●半濁音

半濁音は2つのマスを使い、向かって左のマスの6の点で半濁点を表します。

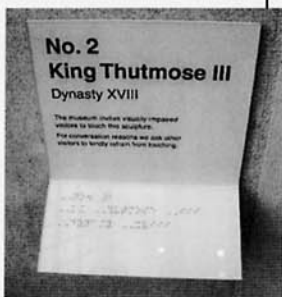
バ	ビ	ブ	ベ	ボ
●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●
●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●

●符号

長音符	促音符	読点(、)	句点(。)
●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●
●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●

●6つの点の組み合わせ

数字や音符、棒線、点線、記号、アルファベットも点の組み合わせによって表されます。はっきりした数は不明ですが、世界の各言語に対応した点字が存在します。所変われば点変わる。6点の組み合わせだけで多様な言語、記号を表現する「点字力」は偉大なり。



ニューヨークのメトロポリタン美術館にある点字ラベル。もちろん英語の点字で書かれています

●読む50音

【母音】	ア	イ	ウ	エ	オ
●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●
●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●

【子音】	カ	キ	ク	ケ	コ
●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●
●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●

	サ	シ	ス	セ	ソ
●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●
●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●

	タ	チ	ツ	テ	ト
●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●
●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●

	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ
●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●
●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●

	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ
●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●
●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●

	マ	ミ	ム	メ	モ
●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●
●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●

	ヤ		ユ		ヨ
●●●●●		●●●●●		●●●●●	
●●●●●		●●●●●		●●●●●	

	ラ	リ	ル	レ	ロ
●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●
●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●

	ワ		ヲ		ン
●●●●●		●●●●●		●●●●●	
●●●●●		●●●●●		●●●●●	

●表記例

読むとき (凸面)	ミ	ン	バ	ク	ク	バ	ン	ミ	書くとき (凹面)
→	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	←
	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	